

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等				総合	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	(1)「先生は生徒一人一人を理解してくれている」「長所に着目した指導をしてくれている」と感じている生徒および保護者が60%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 個人面談や生徒観察・検査等を通じて生徒理解を図る。 全職員で丁寧な指導および情報を共有する。 平常時の連絡や保護者会等を通じて保護者との連携・情報共有を図る。 生徒との信頼関係を構築した上で、社会に必要なマナーや言葉遣い等の指導を推進する。 登校時に担当職員が生徒を迎えることで、挨拶を含めたコミュニケーションを図る。 	A	B	B	定期的に担任が面談を実施するとともに、必要に応じて随時面談を行い、生徒の実態把握に努めてきた。また、毎日の打ち合わせ時に生徒の情報交換を行い、リアルタイムの生徒の状況を全職員で共有した。今後も継続していきたい。			
		(2)挨拶やマナーが向上したり、言葉遣いが丁寧になったと感じている生徒が50%以上である。		<ul style="list-style-type: none"> 行事への信頼関係を構築した上で、社会に必要なマナーや言葉遣い等の指導を推進する。 登校時に担当職員が生徒を迎えることで、挨拶を含めたコミュニケーションを図る。 	B	B	B		生徒登校時の職員による出迎えをはじめ、職員が様々な場面で声かけや挨拶等をすることにより、多くの場面で場面で挨拶できる生徒が増えてきた。場に応じた言葉遣いの指導が今後の課題である。	
		(3)定時制に入学して自己有用感が高まったと感じている生徒の割合は60%以上である。		<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や生徒会活動、LHR、部活動など、特別活動の充実を図る。 行事に対し消極的な生徒に対し、参加しやすい雰囲気づくりに努める。 	B	B	B		「エージェンシーの育成」を目標に、学校行事等を生徒主体で実施するなど、生徒の自己肯定感を高められるような工夫をした。今後も継続していきたい。	
	2 資格取得推進に向けた指導を行っていますか。	(4)資格取得に向けた指導に満足している生徒が60%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 授業やHRを活用し資格取得を喚起する。また、授業において取得に向けた内容の工夫を行う。 補習や部活動を通じて、きめ細やかな指導を徹底する。 	A	A	A	授業やHRの指導を通して、生徒の資格取得への意欲の向上を図った。また、商業部の活動を通して、上位級に挑戦する生徒も多く見られた。更に資格取得を推進していきたい。			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 就業支援や職業教育の推進に向けた指導を行っていますか。	(5)就業情報の提供や就業支援に向けた指導に満足している生徒が60%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 進路通信を定期的に発行し、LHR等で活用して情報提供・支援を行う。 ハローワークを活用した求人情報の提供を行う。 	A	B	B	月1回の進路通信を発行し、情報提供を行ったり、卒業生による就業体験発表や4年生による進路体験発表会を実施するなどして工夫した。また、外部の講師へ依頼し、講演会等を複数回行った。有用な情報を今後も公開していきたい。			
		4 交通安全意識向上のための指導を行っていますか。		(6)交通安全に十分に注意して登下校している生徒が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室を年2回、交通用具点検を年3回実施する。 HRや行事時に、交通安全に係る話題を提供する。 	B	B		B	外部人材を活用した交通安全教室等を開催し、生徒が交通安全を自分ごととして捉えられるよう工夫し、事故の防止を図った。様々な交通手段に対応した指導を心がけたい。
		5 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。		(7)「授業が分かりやすい」と思っている生徒が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に応じた分かる授業の実践、ICT機器の活用、及び授業改善に努める。 個に応じた授業を心掛ける。 	A	B		B	生徒個々の実態を見極め、生徒の興味・関心を引き出すために、工夫した授業を実践し、生徒の学習意欲の向上のために努力した。また、ICT機器も積極的に活用した。単にICT機器を使用するだけでなく、授業の効率が向上するよう努めたい。
	6 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	(8)単位未修得者は、全生徒の10%以下である。(休学を除く)	<ul style="list-style-type: none"> 適宜、補習等を実施することで、学習進度の遅い生徒を支援する。 習熟に差のあるクラスにおける指導方法の工夫を図る。 	B	B	B	欠席の多い生徒について、家庭との連絡を密にするとともに、欠席時のプリント類の収集、登校時に配布するなどの取り組みを意図的に行った。教員数が少なく、習熟度別指導の実施が課題となっている。			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	7 組織的・継続的な指導を行っていますか。	(9)いずれかの検定に合格する生徒が50%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して、検定への受験喚起及び支援を行う。 ポスター掲示や呼びかけ等で検定試験受験への意欲を高める工夫を実施する。 	B	B	B	検定試験受験希望者に対し、授業のみならず課外の時間を活用することで個に応じた指導に努めた。20名(生徒数の57.1%)の生徒がいずれかの検定に合格した生徒がさらに自ら受験を希望する生徒が増加するよう努めたい。			
		8 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていますか。		(10)登校時指導を登校日の90%以上実施している。	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初に意思統一を行い、副担任を中心とした職員による登校時の生徒観察・声かけを実施する。 	A	A		A	生徒が登校する際には、必ず副担任による挨拶指導を実施し、生徒観察と声かけに努めた。生徒との良好な関係を築くため、今後も継続していきたい。
		9 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。		(11)いじめの未然防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていると思っている生徒が60%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談会を定期考査後に実施する。 生活アンケートを年3回実施する。 いじめを許さない雰囲気を組織的に構築する。 	A	B		B	年間5回の教育相談、3回のアンケートを実施し、いじめの未然防止・早期発見に努めた。今年度のいじめの認知はなかった。今後もいじめ防止に努めたい。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	10 計画的な指導を行っていますか。	(12)欠席・遅刻をする生徒が20%以下である。	<ul style="list-style-type: none"> 登校時指導を実施する。 全体指導だけでなく、個別に欠席や遅刻防止に向けた指導を行う。 	C	C	C	毎日の登校時指導において、生徒とのコミュニケーションを図った。また、欠席・遅刻の多い生徒に関しては保護者とも密に連絡をとり状況把握を行った。長期欠席者が多く鳴っているため、対応を図りたい。			
		(13)学校生活が充実していると感じている生徒が70%以上である。		<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた指導を実施する。 学校行事の充実を図る。 	B	B	B		生徒会役員を中心に学校行事の運営を生徒主体にすることで、充実感の高揚を図った。特に定時制全日制合同開催の文化祭(高商祭)に参加することで、生徒の活躍の場を広げることができた。	
		11 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。		(14)学校から提供される情報が役立つと思っている生徒が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> HRや授業を通して、社会的に自立するために必要なデータを提供する。 教育相談会を定期考査後に実施し、生徒の実態把握に努め、指導の充実を図る。 	A	B		B	進路通信を定期的に発行し、生徒・保護者に情報を提供するとともに、外部講師による進路講演会など計画的に進路行事を開催した。低学年次からの進路意識を向上させることが今後の課題である。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	12 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	(15)自分の適性を理解している生徒が60%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 進路適性検査を実施し、自己理解を深める。 キャリアパスポートを活用して具体的な目標設定、及び行動につなげる。 	C	C	C	行事ごとに「キャリアパスポート」を記入させ、進路との結びつきを考えさせた。また、適性検査等を実施し、それを生徒の指導に活かすことにより自己理解を促し、進路について考える機会を作ってきた。今後も様々な活動を通じて、自己適性を考える機会を増やしていく必要がある。			
		(16)自らの進路について改めて考えるようになった生徒が60%以上である。		<ul style="list-style-type: none"> 外部講師による進路講演会を実施する。 4年生進路決定者による進路体験を下級生と共有する行事を実施する。 	A	B	B		外部講師による進路講演会、卒業生による就業体験発表会、4年生による進路体験会を実施し、進路を身近に考える機会を作った。更に外部とのネットワークを作り、有効な活動を考えていきたい。	
		(17)保護者会に積極的に参加している保護者が60%以上である。		<ul style="list-style-type: none"> 日頃から保護者の要望に柔軟に対応する。 	B	B	B		案内等で保護者の出席を促し、欠席した保護者には別の機会を設けるなどして、ほとんどの生徒の保護者が出席した。保護者会の内容を充実させることが課題である。	
VI 教育デジタル化に努めていますか。	13 ICTを活用した指導を行っていますか。	(18)学校公開を2回以上実施している。	<ul style="list-style-type: none"> 公開授業を計画的に実施する。 定時制Webページを充実させ、積極的に情報発信する。 	A	B	B	今年度より定時制Webページにブログを作成し、学校行事の様子を投稿した。また、学校公開を2回実施した。更に家庭、地域社会に情報発信する方策を考えたい。			
		14 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	(19)ICT機器を活用した授業に、生徒の60%以上が満足している。	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修を実施し、教員のICT機器に対する習熟と活用法の共有を図る。 	B	B	B		ICT機器を頻りに活用している教員が習熟と活用法をレクチャーしている場面が多く見られた。次年度は研修等を通して、さらに効果的な活用方法を考えていきたい。	
		(20)ICTを活用したアンケートを3回以上実施している。	<ul style="list-style-type: none"> GoogleFormsの積極的活用を推進する。 	A	B	B	授業アンケート(2回)、学校評価アンケート(2回)でGoogleFormsを活用した。また、職員間の調査等の大半はGoogleFormで行った。情報漏えい防止が今後の課題である。			
		(21)会議や打ち合わせ、文書処理など多様な業務において、ペーパーレスを実施している。	<ul style="list-style-type: none"> kinakoを活用した校内環境の充実を図る。 メールやネットワークを活用した文書の受け渡しを実施する。 	B	B	B	職員への連絡事項のみでなく、休暇取得や行事予定など多くのことをkinacoで行った。文書の受け渡しは半分程度はデータで実施したが、いまだ書面での受け渡しが一般化しており、課題が残る。			